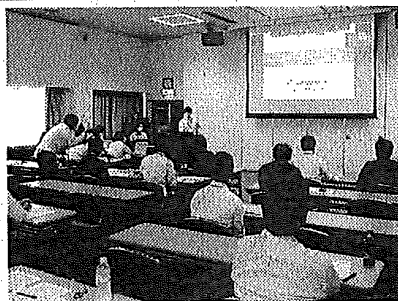


最優秀に清水さん

建コン協九州の
若手技術者交流会

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）は9月30日、福岡市の八重洲博多ビルで、2021年度若手技術者交流会を開いた。写真。オンラインを含めて95人が参加し、10組11人の若手技術者が日ごろの研さんの成果や将来像などを発表した。

冒頭、あいさつした中島城二総務・企画部会長は、「人的ネットワークの充実を図る、



社会貢献に向けて技術者としての自覚と意識を高める、初心とやりがいを振り返る、交流会をそういった機会にしてほしい」と呼び掛けた。

発表会は、質疑応答を含め1組17分の持ち時間で発表した。審査の結果、最優秀賞に清水奨伍さん（オリエンタルコンサルタンツ九州支社）の「都市高速道路における事故対策検討」、優秀賞には野村泰輔さん（東京建設コンサルタント九州支社）の「近年漏水を踏まえた漏水タイムラインの策定に向けて」、小材隆文さんと古川海人さん（いずれも九州建設コンサルタンツ）の「治水事業における環境配慮の取り組み」が選ばれた。

このほかの発表テーマと発表者は次のとおり（敬称略）。

- ▽河川水辺の国勢調査成果の活用あり方Ⅱ甲斐達也（西日本技術開発）
- ▽ダム事業の合理化に向けたCIM技術の活用と今後の展開Ⅱ本多瑛吾（建設技術研究所九州支社）
- ▽長崎県の離島における道路概略設計Ⅱ白井飛翔（大日本コンサルタンツ九州支社）
- ▽跨道橋を対象とした地質調査Ⅱ竹尾美幸（基礎地盤コンサルタンツ九州支社）
- ▽市街地における電線共同溝予備設計Ⅱ末次祐貴（第一復建）
- ▽橋梁設計におけるDX推進（BIM/CIM）Ⅱ今井晴輝（長大福岡支社）
- ▽急傾斜地崩壊防止施設の補修設計Ⅱ西石京（サンコーコンサルタント九州支社）。